

梁川美術館被害状況報告書（H23.3.23）

〔被害状況〕

- 施設
 - ・外 周…地盤が沈んだことによる玄関へのアプローチ付近の破損
 - ・ロビー…ブロンズ像転倒による壁・床破損
 - ・1階展示室…壁面ひび割れ・作品が転倒による床破損
 - ・エレベーター…作動不能
 - ・床暖房…作動不能
- 作品
 - ・外 周…入り口のブロンズ像が斜めに
 - ・ロビー…ブロンズ像（立像）転倒
 - ・1階展示室…展示台から落下転倒したブロンズ像あり
斜めになって転倒する恐れのある作品多数
 - ・収蔵庫…修復困難な石膏像1点
 - ・ つなぎ目が破損した石膏像多数

〔これまでの作業状況〕

- 作品
 - ・余震が続いているため、転倒の恐れがある小型作品については展示台から下に落とした
 - ・展示台に上で角度が変わり転倒の恐れがある作品については、美術館職員で移動可能なものは台中央部に移動。職員で移動不能なものは教委職員で対応する。

〔今後の作業予定〕

- 施設
 - ・開館に向けて最低限必要な補修については予算獲得後に実施予定
 - ・それ以外の補修については随時、補修を実施予定・22年度に実施する美術館外周の工事に含めることが可能な部分は当該工事とあわせて対応する
- 作品
 - ・人力での対応が困難な転倒した大型作品については、予算獲得後の対応。
 - ・破損した作品の補修については今後時間をかけて対応

〔開館見込み〕

余震によるブロンズ像の転倒による危険性が懸念されるため、当分の間、閉館とする。

〔修繕に要する経費〕

- ・総額 6,100,000 円
- 地下1階 ボイラー補修ほか 152,000 円
- 1階 非常用設備バッテリー交換ほか 1,870,000 円
- 外部 玄関周り床陥没補修ほか 4,078,000 円

保原歴史資料館被害状況報告書（H23.3.23）

〔 被害状況 〕

- 亀岡邸 ・外 周…屋根の「風見鶏」破損落下・瓦破損・ガラス破損
・内 部…土壁亀裂及び剥落箇所多数・ガラス破損・建具変形・床面ズレ
- 資料館 ・展示室…展示物転倒及びズレ
・収蔵庫…書架から古文書・資料等が落下散乱
・トイレ…浄化槽の機能が破損

〔 これまでの作業状況 〕

- 亀岡邸 ・県指定であり、被災の状況について県が記録後の処理となる。本日記録予定。
- 資料館 ・大型のものを除き展示物については復帰を完了

〔 今後の作業予定 〕

- 亀岡邸 ・県の記録完了後、清掃作業を実施。補修については県との協議後、補修について検討。
- 資料館 ・収蔵庫は今後整理作業を継続
・トイレについては、管理棟トイレと連動 復旧には長期間を要するものと思われる

〔 開館見込み 〕

- 亀岡邸 ・3月30日（水）
- 資料館 ・3月24日（木）

〔 修繕に要する経費 〕

- ・総額 810,000 円
 - 壁補修 434,500 円
 - 木部補修 25,000 円
 - 風見鶏建て直し 15,000 円
 - ガラス入れ替え 12,000 円
 - 清掃 323,500 円

市立図書館被害状況報告書 (H23.3.23)

1 被害状況

- i 書架の蔵書が散乱（全体の3割程度）……………被害状況写真①
- ii 天井のガラス製防災垂壁が破損（5箇所）……………被害状況写真②③
- iii 破損した天井のガラス製防災垂壁が床に散乱……………被害状況写真④
（一部、散乱した蔵書や書架の蔵書にガラス破片が散乱）

2 現在の進捗状況

3月19日(土)、破損部分の天井のガラス製防災垂壁を除去
※平成22年度伊達ふれあいセンター施設費で対応

3 今後の作業予定（3月23日～28日）

- i 散乱した蔵書や書架に飛び散ったガラス破片を取り除く。（2日）
- ii 散乱した蔵書を書架に戻し区分ごとに整理する。（2～3日）
- iii 床のガラス破片を取り除く。（1日）

※市立図書館職員とカウンター業務を委託している業者を動員し対応

4 開館見込み

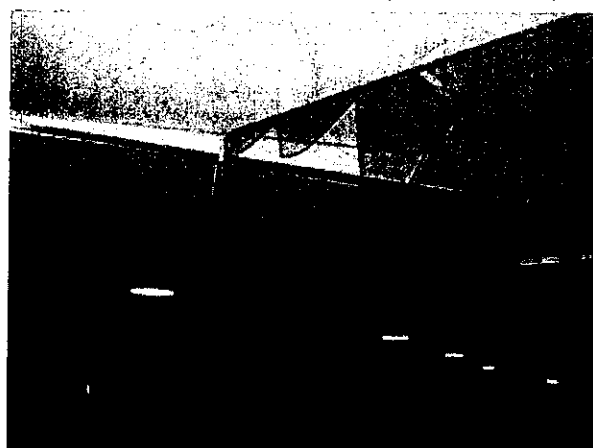
開館日途を3月29日とするが、出来る限り早く開館できるよう作業を進める。

被害状況写真

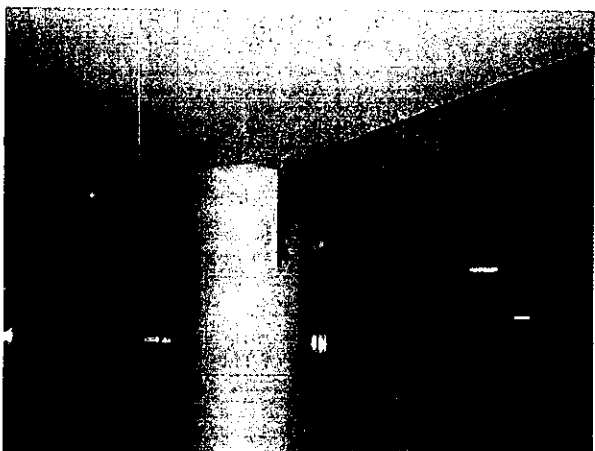
①蔵書散乱状況



②ガラス製防災垂壁破損状況（H≒1m）



③ガラス製防災垂壁破損状況（H≒1m）



④ガラス製防災垂壁散乱状況（カウンター付近）

